

# 2016年度(2017年3月期) 第1四半期 決算説明会



2016年8月1日

大正製薬ホールディングス株式会社

取締役 上原 健



# 2016年度第1四半期実績：概要

(億円)

	2015年度 1Q	2016年度 1Q	前年同期比増減	
売上高	692	694	+2	+0.3%
セルフメディケーション	436	430	-6	-1.4%
医薬	256	264	+8	+3.2%
営業利益	52	91	+39	+74.0%
経常利益	75	104	+29	+39.1%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	47	69	+23	+48.2%

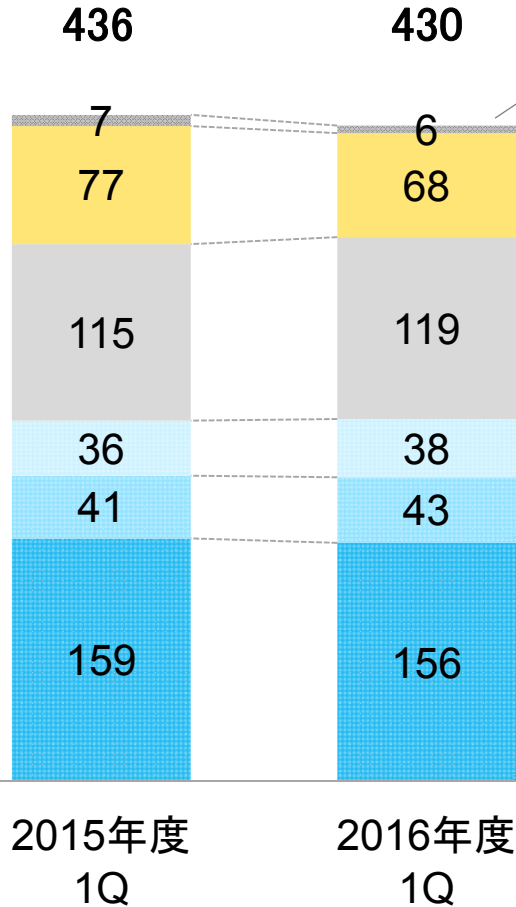
注：金額は億円未満四捨五入



# 2016年度第1四半期の概況：SM事業

SM事業売上高 (億円)

内訳(前年同期比増減)



その他 (-1億円)

海外合計【68億円(-9億円、-11.5%)】

海外ドリンク・OTC等

国内合計【356億円(+5億円、+1.2%)】

国内その他

リアップシリーズ

パブロンシリーズ

リポビタンシリーズ

現地通貨ベースは計画通り  
為替がマイナスに影響

通販事業が順調に伸長  
ライジン・コバラにも注力

継続ユーザー増が寄与し、  
引き続き安定して伸長

鼻炎治療薬増  
かぜ薬は前年並みに推移

市場ダウントレンドは継続も、  
リポD売上は前年並み

注:金額は億円未満四捨五入  
増減は百万円単位で計算

<ご参考:市場の状況>

- 国内OTC医薬品市場:前年同期比(4~6月)-1.2%  
(インテージSDI・SRIデータをもとに当社推計、金額ベース)



# 2016年度第1四半期

## SM国内：主要ブランド売上高

(億円)

	2015年度 1Q	2016年度 1Q	前年同期比増減	
リポビタンシリーズ	159	156	-3	-1.8%
パブロンシリーズ	41	43	+2	+4.7%
リアップシリーズ	36	38	+1	+3.3%
リビタシリーズ	10	9	-1	-8.5%
胃腸薬シリーズ	9	9	+0	+5.0%
ナロンシリーズ	9	9	-0	-2.1%
ヴィックスシリーズ	5	5	+0	+2.2%

注：金額は億円未満四捨五入 増減は百万円単位で計算



# 2016年度第1四半期 SM海外：売上高

(億円)

	2015年度 1Q	2016年度 1Q	前年同期比増減	
SM海外	77	68	-9	-11.5%
海外ドリンク剤	25	25	-0	-0.5%
海外OTC医薬品	49	42	-7	-14.1%
アジア	41	36	-5	-12.7%
その他	8	6	-2	-20.7%

注：金額は億円未満四捨五入 増減は百万円単位で計算



# 2016年度第1四半期の概況：医薬事業

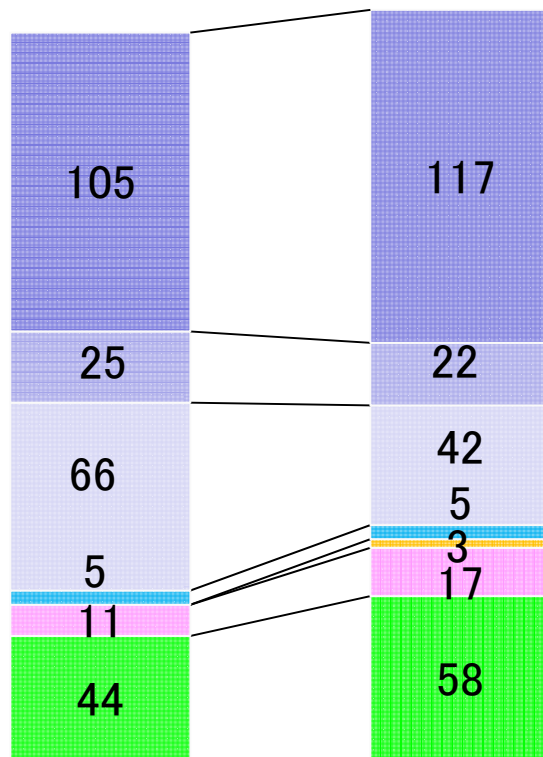
## 医薬事業売上高

(億円)

## 内訳

256

264



その他

クラリス

薬価改定、後発品の影響

ゾシン

薬価改定、後発品の影響

ルセフィ

市場拡大、処方医師増加

ロコア

採用軒数の増加

ボンビバ

大口施設数が増加、経口剤発売

エディロール

骨粗鬆症治療のベース薬として浸透

2015年度  
1Q

2016年度  
1Q

<ご参考：市場の状況>

医療用医薬品市場：前期比+2.5%

・抗菌薬市場-13.9% ・ビタミンD3市場+8.6%

・ビスホスホネート市場-0.9% ・SGLT2i市場+98.9%

(Copyright 2016 IMS ヘルス、JPM2015年4月-2016年6月をもとに作成、無断転載禁止)



# 2016年度第1四半期

## 医薬事業：主要製品売上高

(億円)

	2015年度 1Q	2016年度 1Q	前年同期比増減	
			増減額	増減率
エディロール	44	58	+14	+31.3%
ゾシン	66	42	-23	-35.3%
クラリス	25	22	-3	-10.4%
ボンビバ	11	17	+6	+54.9%
パルクス	16	15	-1	-5.8%
ジェニナック	4	11	+7	+178.5%
ルセフィ	5	5	-0	-4.1%
ロコア	-	3	+3	-

注：金額は億円未満四捨五入 増減は百万円単位で計算



# 2016年度第1四半期：売上高・利益の増減要因

(前年同期比増減額)

売上高 (+2億円)	セルフメディケーション事業 (-6億円)	医薬事業 (+8億円)
営業利益 (+39億円)	売上総利益* +19億円 (売上総利益率* 前期61.4% → 当期64.0%)	
	販管費 -19億円	
	(内訳)	
	・研究開発費	-4億円
	・広告宣伝費	-5億円
	・販売促進費	-5億円
	・人件費	-1億円
・その他	-5億円	
営業外損益：持分法投資損益 -2億円(前同比-2億円)		

\*返品調整引当金繰入・戻入調整後

注：金額は億円未満四捨五入 増減は百万円単位で計算





# 企業提携等に関する事項

- **ベトナム・ハウザン製薬との資本業務提携**  
(2016年5月31日資本業務提携契約、7月4日同社株式24.5%取得)
  - ・ 今後成長が見込まれるベトナム医薬品市場も含め、東南アジア地域での事業展開をより一層強化
- **バイエル薬品との国内OTC医薬品に関する提携**  
(2016年7月11日契約締結)
  - ・ アレルギー性疾患治療剤「クラリチン」に関するライセンス及び商業化に関する契約を締結



# 医療用医薬品：新薬パイプライン(1)

## 大正製薬開発品：フェーズ2以降

(2016年8月1日現在)

	<u>特長他</u> 予定適応症	開発形態	国内／海外
フェーズ2			
TS-091 (経口)	中枢性過眠症	自社	国内
TS-152* (注射)	<u>抗TNF<math>\alpha</math>抗体</u> 関節リウマチ	自社	国内
TS-141 (経口)	小児 注意欠如・多動性障害(AD/HD)	自社	国内

\*TS-152: 一般名: Ozoralizumab



# 医療用医薬品：新薬パイプライン(2)

## 大正製薬開発品：フェーズ1

(2016年8月1日現在)

	対象疾患	自社／導入	国内／海外
フェーズ1			
TS-071* (経口)	2型糖尿病	自社	海外
TS-121 (経口)	うつ病	自社	海外
TS-091 (経口)	中枢性過眠症	自社	海外
TS-134 (経口)	統合失調症	自社	海外

\*TS-071：一般名：ルセオグリフロジン水和物、国内販売名：ルセフィ

# 2016年度：2Q累計 業績予想修正



(億円)

	2016年度 2Q累計 (旧予想)	2016年度 2Q累計 (新予想)	修正額*	前期比増減	
売上高	1,400	1,400	-	-60	-4.1%
セルフメディケーション	915	915	-	-6	-0.6%
医薬	485	485	-	-54	-10.0%
営業利益	110	130	+20	-9	-6.6%
経常利益	140	155	+15	-22	-12.3%
親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益	90	100	+10	-13	-11.4%
1株当たり四半期(当期) 純利益(円)	112.63	125.15	-	-	-

注:金額は億円未満四捨五入 増減は百万円単位で計算

\*2016年5月16日時点の予想との比較

# 2016年度：2Q業績予想修正 販売費及び一般管理費



(億円)

	2016年度 2Q累計 (旧予想)	2016年度 2Q累計 (新予想)	修正額*	前期比増減	
販売費及び一般管理費	779	759	-20	+7	+1.0%
研究開発費	122	111	-11	+6	+5.7%
広告宣伝費	116	113	-3	+3	+2.6%
販売促進費	161	153	-8	-7	-4.4%
人件費	183	183	-	+1	+0.3%

注：金額は億円未満四捨五入 増減は百万円単位で計算

\*2016年5月16日時点の予想との比較



# 2016年度：通期業績予想

(億円)

	2016年度 2Q(予)	2016年度 通期(予)	前期比増減	
売上高	1,400	2,850	-51	-1.8%
セルフメディケーション	915	1,854	+47	+2.6%
医薬	485	996	-98	-9.0%
営業利益	<u>130</u>	295	+6	+2.2%
経常利益	<u>155</u>	365	-3	-0.7%
親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益	<u>100</u>	240	+15	+6.8%
1株当たり四半期(当期) 純利益(円)	<u>125.15</u>	300.37	-	-

注：金額は億円未満四捨五入 増減は百万円単位で計算

下線は期初予想より変更あり



# 2016年度予想

## SM国内：主要ブランド売上高

(億円)

	2016年度 2Q(予)	2016年度 通期(予)	前期比増減	
リポビタンシリーズ	336	604	-1	-0.2%
パブロンシリーズ	99	255	+7	+2.9%
リアップシリーズ	78	169	+3	+1.9%
リビタシリーズ	18	40	+1	+2.9%
胃腸薬シリーズ	19	41	+0	+0.3%
ナロンシリーズ	18	36	-1	-2.3%
ヴィックスシリーズ	13	37	+1	+3.2%

注：金額は億円未満四捨五入 増減は百万円単位で計算



# 2016年度予想 SM海外：売上高

(億円)

	2016年度 2Q(予)	2016年度 通期(予)	前期比増減	
SM海外	143	290	-9	-2.9%
海外ドリンク剤	49	97	-6	-6.1%
海外OTC医薬品	91	185	+1	+0.6%
アジア	76	157	+0	+0.0%
その他	15	29	+1	+3.6%

注：金額は億円未満四捨五入 増減は百万円単位で計算





# 2016年度予想

## 医薬事業：主要製品売上高

(億円)

	2016年度 2Q(予)	2016年度 通期(予)	前期比増減	
エディロール	<u>111</u>	224	+26	+12.9%
ゾシン	83	154	-119	-43.6%
クラリス	40	98	-22	-18.3%
ボンビバ	31	66	+17	+34.0%
パルクス	26	51	-11	-17.8%
ジェニナック	27	50	+7	+16.6%
ルセフィ	<u>10</u>	26	+17	+194.5%
ロコア	<u>5</u>	18	+14	+312.8%

注：金額は億円未満四捨五入 増減は百万円単位で計算

下線は期初予想より変更あり（詳細は付帯資料をご参照ください）



# 2016年度予想：売上高・利益の増減要因

(前期比増減額)

売上高 (-51億円)	セルフメディケーション事業 (+47億円)	医薬事業 (-98億円)
営業利益 (+6億円)	売上総利益* +47億円 (売上総利益率* 前期60.9% → 当期63.7%)	
	販管費 +41億円	
	(内訳)	
	・研究開発費	+16億円
	・広告宣伝費	+21億円
	・販売促進費	-10億円
	・人件費	+7億円
・その他	+6億円	
営業外損益：持分法投資損益 -5億円(前期比-9億円)		

\*返品調整引当金繰入・戻入調整後

金額は億円未満四捨五入 増減は百万円単位で計算